

わたしの
幸せな結婚



望んでしまった
少しでも長く
この人と居たいと

目黒蓮 (Snow Man) 今田美桜
主演 大西流星 (Snow Man) 前田旺志郎 高石あかり
小池勇輝 依田義賢 (IMPACT/フューチャー) 西畑大吾 松島庄汰 高橋大輔 / 珠城りょう 小林滉平 濱田崇裕
山本未來 / 山口紗弥加 / 中山裕介 高橋聖 津田健次郎 / 尾上右近
大野正平 石橋通司
原作 野木あきみ「わたしの幸せな結婚」(S.B.S.文庫「KADOKAWA」)
監督 塚原あゆ子
脚本 塚原あゆ子 監修 山本楓
音楽 舞鶴 Snow Man「アースター」(MENT RECORDING)
2023.3.17 Fri. Roadshow

映画の撮影が舞鶴でも

今話題の目黒蓮さん、今田美桜さんをはじめ、豪華キャストが集結する映画『わたしの幸せな結婚』。2022年2月〜3月に市内4か所赤れんがパーク、東郷邸、北吸トンネル、北吸配水池)で撮影が行われました。

舞鶴フィルムコミッションは、市内のロケーションを生かした撮影の呼び込みやお手伝いで地域の魅力を発信しています。本作のほかにも映画やドラマの撮影を招き入れており、今後も各ロケ作品を通じて観光や地域を

盛り上げるために取り組みます。
《舞鶴フィルムコミッション》
※過去の作品は舞鶴フィルムコミッションホームページで
左下コードからアクセス可



【監督 塚原あゆ子 さんインタビュー】

一瞬一瞬の切り取り、表現があまりにリアル、そしてきれいで、気付けば自分も作品の中に入り込んでしまい、心震わされる。多くの人を魅了する作品を手掛ける塚原あゆ子さんが、ファンタジー要素が入った話題作のメガホンを取り、舞鶴をロケ地を選んだ。塚原さんに、舞鶴を選んだ理由、作品に懸ける思いを伺った。

※インタビューは2022年3月4日に舞鶴地方総監部会議所(東郷邸)で実施



プロフィール
株式会社TBSスパークル エンタテインメント本部ドラマ映画部所属。プロデューサー・ディレクター。1997年入社。2019年TBS日曜劇場「グランメゾン東京」2018年TBS金曜ドラマ「アンナチャール」をはじめ、多数の作品を演出。2018年、映画「コーヒーが冷めないうちに」で映画監督デビュー。受賞歴は第1回大山勝美賞、ザテレビジョンドラマアカデミー賞監督賞、東京ドラマアワード演出賞など。

今回、舞鶴での撮影ですが、このまちの印象は？

夏に一度ロケハン(※)で来たときは暑かったのですが、ここまで雪が降るとは思いませんでした。毎日降っていて、京都出身の撮影スタッフに「日本海側なめんなよ」と言われました(笑)。毎日雪かきをしながらの撮影ですが、雪景色はきれいですね。雪の設定だったらそのまま撮れて良かったんですが。まちを巡ると赤れんがの倉庫だったり、東郷邸だったり、今回海の方には行かないんですけど、ロケをする側としては来る価値がある場所だなというのが印象です。

舞鶴を選んだ決め手は？

この作品は時代劇でもあり、SFでもあるんです。作品をご覧になっていない人にネタバレするといけないので詳しくは言えませんが、メインのロケには広い場所が必要でした。それは目黒君が演じる久堂清霞というキャラクターが活躍する場面として必要なんです。それにSFの世界観も表現できる場所を考えた時にここなのかなと。あとは赤れんがの感じと、この東郷邸の和と洋の両方を備えた感

映画『わたしの幸せな結婚』

原作は野木あきみさんの小説。日本出版販売主催の「全国書店員が選んだおすすめコミック2021」でコミカライズ版が第1位。累計発行部数550万部の今最も注目のラブストーリーを塚原あゆ子監督が待望の映画化。主役の久堂清霞を本作

が映画単独主演となる目黒蓮さん、ヒロインの齋藤美世を今田美桜さんが演じる。

映画『わたしの幸せな結婚』
3月17日公開
©2023 映画『わたしの幸せな結婚』製作委員会



じです。まあ大正時代というのをどう捉えるかですが、時代劇とはいえない現代の匂いも感じられるような、電話もあり、電気も通っているような時代でちょうどぴったりだと思ったところですかね。

ロケで良かったところは？

東郷邸は庭の感じが良く、現代物の見えない奥まったところにあるので、撮影しやすい場所の一つだなと。他の映画でもよく使われている理由がすごくよく分かるし、また赤れんがもそうなんです。制作を受け入れる態勢がしっかりしていることも非常に助かりました。歴史があるものというのは壊れるかもしれないしもういので、来てくれるという場所が多いんです。そうするとこういうエンターテインメントを撮る場所がなくなります。このコロナ禍で不要不急だといわれるエンタメかもしれないですが、なければ生活が細っていく大切な文化なので、コロナ禍で止まらないで、浪費されていく覚悟で毎日作り

続けるというのが私たちの唯一できるコロナへの挑戦です。そういう時に、これだけ歴史ある建物をコロナ禍でも来ていいよと、使っていいよと言ってもらえたのが驚きでした。この東郷邸も赤れんがも結構大々的に飾りこませてもらうんですけど、それを許してくれるところが全国を見てもそんなに多くないというのが現状です。映画をご覧になった人がロケ地を訪れる聖地巡礼で、舞鶴に来れば画面で見ただけで見られるので、2度、3度と楽しんでいただけたらいいかなと思います。

逆に苦労したところは？

雪だけです(笑)。雪かきが大変でした。雪の中の撮影は本当に苦労するので、皆さんに放水、雪かきと協力してもらって、態勢を整えていただき、撮影できたのは幸せでした。

この作品に懸ける意気込み、メッセージをお願いします。

原作は、いろんなジャンルが融合されていて、ラブストー

リーを好きな人、SFを好きな人など、とにかく幅広い層に見て楽しんでもらえる作品です。その原作を生かして、目黒君と今田さんといった今句でフレッシュな二人が清霞と美世として、成長し、困難に挑んでいくというのを、彼ら彼女らを応援するように見ていただくと楽しめます。また時代劇でもあるので、高校生とか、その世代の人における恋愛の感じが今とはやはりちよっと違っています。そのあたりの奥ゆかしさというのかな。今だったらすぐメールして告白すればいい話かなかなかそうはいかない。最近ではあまり聞かない許嫁とか、政略結婚をするという特殊な世界の中でのラブストーリーです。その中で、相手のことを思い合う姿など、キラキラしている人間としての美しさとか、今すぐドキドキしたよなとかいう表情を見ることが、現代の恋愛事情よりも時間がかかるラブストーリーを楽しんでもらえるといいなと思います。

聖地巡礼で映画を何度も楽しんでほしい

※ロケハン…ロケーション・ハンティングの略で映画など撮影に適した景色のある場所を探すこと